

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ユアスペース 末広町教室		公表日		2026年 4月 22日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・ゲーミングPCの増設など、利用者が楽しく過ごせるよう工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		・トラブルがあった際も素早く利用者に関わっており、手が足りないとは感じない。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・ゲーム、TV,勉強用机の位置がハッキリしている。	・教室が階段でしか移動できないため、建築の都合上バリアフリー化が難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・よく片付いており、心地よく過ごせている。家庭的な雰囲気で居心地が良い。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・大部屋から離れたところに個室がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		・アルバイトの為不明		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者への生徒報告書の提出や面談の場など保護者との関りを通して意向確認を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員が意見交換しやすい場であると感じる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・アルバイトの為不明		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・定期的に研修が行われている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・利用者一人一人に合わせた関りやプログラムが実行されていると感じる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・利用者一人一人と関り、ニーズや課題を見つけ検討している感じる。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・アルバイトの為不明		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画をまとめた資料をまとめたファイルがあり、いつでも確認できるようになっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・利用者の普段の様子をよく見守り、小さなトラブルや変化もよく観察している土台が整っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・アルバイトの為不明		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・アルバイトの為不明		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・様々な行事が行われており固定化されていない。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・個人で行う活動と集団生活の中の活動が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・アルバイトの為不明	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・アルバイトの為不明	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎日報告書を作成しており、ニーズや課題の表面化に取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・アルバイトの為不明	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		・こどもの自立を支え、多様な日常生活のため豊かな支援を提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・こどもの選択の機会を増やし、自分で考える力を育てている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		3	・アルバイトの為不明 ・機会あれば参加したい	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・アルバイトの為不明	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	・アルバイトの為不明	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2	・アルバイトの為不明	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	・アルバイトの為不明	・該当者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	・アルバイトの為不明	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	・アルバイトの為不明 ・地域の子どもが参加できるイベントを開催した	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	・アルバイトの為不明	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・活動報告書を毎度保護者に提出し、その日の状況や課題を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	・アルバイトの為不明	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・アルバイトの為不明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・支援の際には子どもの意向や特性を踏まえ子どもの健やかな成長を優先している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		・アルバイトの為不明	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的に活動報告書を通じた？意見の取入れや面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	・アルバイトの為不明	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・アルバイトの為不明	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・「Comiru」を使い、活動の情報を定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・誓約書の記入や個人情報の取り扱いについての使用など、意識や体制づくりを行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・子どもの特性に合わせた接し方をしていると感じる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	・アルバイトの為不明	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・アルバイトの為不明	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		・アルバイトの為不明	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		・アルバイトの為不明	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・アルバイトの為不明	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・アルバイトの為不明	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・アルバイトの為不明	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハット共有ファイルを纏めており、意識作りができています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待についてのファイルを纏めており、意識作りができています。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	2	1	・アルバイトの為不明	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		・アルバイトの為不明	